

学会印象記

第40回日本バイオマテリアル学会大会

会 期：2018年11月12日(月)，13日(火)

会 場：神戸国際会議場(兵庫県神戸市)

大会長：山岡 哲二(国立循環器病研究センター研究所生体医工学部 部長)

城 潤一郎

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 生体材料学分野

第40回日本バイオマテリアル学会大会が、2018年11月12～13日、神戸国際会議場において開催された。国立循環器病研究センター研究所生体医工学部 部長の山岡哲二先生が大会長を務められた。日本バイオマテリアル学会は、バイオマテリアル(生体やその構成要素と直接あるいは間接に接触させて、傷んだ組織や器官、あるいは機能の診断や治療を行い、さらにある場合には損傷部を補ったり、置き換えたりするために用いる材料)の教育、研究、産業に関する情報の交換を通し、新学問領域としての体系化と確立および臨床医療への応用を計るために、1978年に設立された(日本バイオマテリアル学会ホームページ http://kokuhoken.net/jsbm/file/about_jsbm.pdf より引用)。2018年は学会設

立40周年であり、機関紙 [生体材料および Journal of Biomedical Materials Research (JBMR)] で特集が組まれている。本大会においても、学会のこれまでを振り返る特別企画が生まれ、参加者も785名と大いに盛り上がった。

ご存知のように、バイオマテリアルは、再生医療のアプローチの1つである組織工学を支える材料として重要な位置を占めている。本大会においても、2つの特別講演 [Jons Hilborn先生(Uppsala大学)による“Advanced design of hydrogel matrices for tissue engineering” および上野高義先生(大阪大学)による“組織再生を応用した心疾患に対する新たなアプローチの開発”]、1つのシンポジウム [Scaffolds for



開会式

(ご提供：第40回日本バイオマテリアル学会大会事務局)